

平成29年度 シラバス (航海・計器A)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科(科目)	水産(航海・計器A)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(海洋技術コース)
使用教科書	航海・計器(海文堂出版会社 発行)				
副教材等	四級海技士(航海)800題 問題と解答				

1 学習目標

船舶を安全かつ適切に航海させるために必要な知識と技術を習得させ、実際に漁業生産に活用する能力と態度を育てる。

2 指導の重点

船舶職員(乗組員)として基本的な知識と技術が必要なことから、船舶を安全に航海させるための航海計器の取り扱いを理解させることを目指します。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	推測航法	航程の線航法	航程の線航法を理解させる。	25	小テスト、期末 考査、レポート、 授業の取組状況 を見て評価しま す。
5	(30日航海実習)	緯差と経差の求め方 到着緯度と到着経度 の求め方	緯差と経差の求め方を理解 させる。		
	平面航法	平面航法の計算	平面航法の計算方法を理解 させる。		
6	距等圏航法	距等圏航法の計算	距等圏航法の計算方法を理解 させる。		
	中分緯度航法	中分緯度航法の計算	中分緯度航法の計算方法を 理解させる。		
	期末考査				
7	電波航法	電波の特性、分類	電波の特性、分類を理解さ せる。	15	小テスト、中 間・期末考査、 レポート、授業 の取組状況を見 て評価します。
	天文航法	天球の位置の表し方 測者と天球との関係 太陽時	天球の仕組みや位置の表し 方を理解させる。 太陽時を理解させる。	1	
9	中間考査	時法	時法を理解させる。		
	天文航法	高度改正 E および d の求め方	高度改正を理解させる。 E および d の求め方を理解 させる。	11	
10					

11		子午線正中時	子午線正中時を理解させる。		
12	期末考査	北極星の時角の求め方 緯度の求め方	北極星の時角の求め方を理解させる。 緯度の求め方を理解させる。	1	
1 2 3	天文航法 学年末考査	日没時 太陽による位置の線 船位の求め方 日没時 太陽による誤差の求め方	日没時を理解させる。 太陽による位置の線を理解させる。 日没時を理解させる。 太陽による誤差の求め方を理解する。	9 1	期末考査、レポート、小テスト、授業の取組状況を見て評価します。

計 64 (55分授業)

4 課題・提出物等

適宜、課題、レポートを出します。期限までに提出するようにしてください。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
航海計器について関心を持ち、学習を通して意欲的に知ろうとしている。	航海の原理について理論的に説明できる。	航海についての値を求めるための計算ができる。	船舶を安全かつ、適切に航海させるために必要な基礎知識を十分理解している。
<p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業への取組状況（授業態度、出席状況、発表、学習参加状況など） ○提出物（レポート、プリント、ノート）の内容及び期限の厳守 ○小テスト（小単元毎） ○定期考査（年間4回） ○自己評価 <p style="text-align: right;">などから総合的に判断します。</p>			

5 担当者から一言

授業に出席すること。授業をしっかりと聞くこと。4級海技士の資格を取る上で必要な事を学びます。どれも船の操船上重要なものばかりなのでしっかりと勉強してください。

(担当 新井清久)

